

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	播磨町立播磨南中学校	研究グループ名 (播磨町中学校性教育研究グループ)
	養護教諭 湯浅貴子	

研究テーマ分類番号 (7)

(1)研究テーマ	
性に関する指導の推進 ～生徒の意識改革、自己肯定感の高揚を目指して～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
7月10日	事前アンケート実施 ・内 容：WYSHプロジェクト事務局のホームページよりダウンロード 7月10日～8月上旬 アンケート集計及び分析 ・分析結果：○播磨南中学校の生徒の知識理解が全国の結果と比較すると低く、正しい知識を持っている生徒が少ない。 ○「高校生になった時、性関係を持つことをどう思いますか？」という問いに対して、男子；62.7%、女子；60.3%の生徒が、「かまわない」「どちらかと言えばかまわない」と答えるなど、性の容認度が高い。 ○「将来、自分が性感染症にかかることがありますか？」という問いに対して、「あると思う」「かなりあると思う」と答えた生徒は、男子；43.3%、女子；31.5%で、大多数の生徒は自分の周りにある危険を感じていない。 8月20・21日 WYSH教育研修会参加（2名） ・実施場所：京都烏丸コンベンションルーム ・内 容：自校の生徒の現状を知る、WYSH 教育の特徴説明、性教育の事例紹介及び指導案検討 9月～10月 指導案検討、教材作り、メッセージビデオ作成 11月 8日 研究授業① ・内 容：養護教諭による一斉授業 ・単 元：「エイズ・性感染症について」 ・会 場：体育館 11月14日 研究授業② ・内 容：各クラスで担任による授業 ・単 元：「ダイヤモンドランキング・性関係の条件を考えよう」 ・会 場：教室 11月16日 研究授業③ ・内 容：各クラスで担任による授業、メッセージビデオの視聴 ・単 元：「ロールプレイ・よりよい人間関係を作ろう」 ・会 場：視聴覚室・図書室 ＊授業①～③について、各時間の感想文をまとめ、通信を発行。 11月21日 事後アンケート実施 ・内 容：WYSHプロジェクト事務局のホームページよりダウンロード 12月 事後アンケートの集計、考察 ・内 容：事前アンケートとの比較、分析、考察及び評価 ・分析結果：○知識面 14の問いに対し正解率が、男子では20.5%～67.4%、女子では

8.7%～73.2%上がった。

○リスク認知

「将来、自分が性感染症にかかることがありますか?」という問いに対して、「あると思う」「かなりあると思う」と答えた生徒は、男子は 14.9%→35.9%(+21%)、女子は 15.1%→64.3%(+49.2%)に、上がった。

○性意識

「高校生になった時、性関係を持つことをどう思いますか?」という問いに対して、「かまわない」「どちらかと言えばかまわない」と答えた生徒が、男子 62.7%→37.5%、女子 62.7%→35.7%に減少した。

生徒の感想から、指導前と意識や考え方が変わったと読み取れるものが多かった。